

 筑前町議会だより

2018.May
CHIKUZEN
GIKAI DAYORI

●編集発行
筑前町議会広報特別委員会
電話 0946-42-6622

どげん

どげん使うと?30年度予算 P4~P6

特集

議会広報 発刊50号 P8

一般質問 その後どうなった? P10

ここが聞きたい 一般質問 P11~P15

第50号

2018.5

年4回発行
5月・8月・11月・2月



3月定例会

3月2日から16日の15日間の日程で開催された。
3月定例会は、諮問2件・同意4件・承認1件・議案20件が
提案され審議の結果、原案のとおり可決した。

議員発議

議員活動が長期的に出来なくなったとき 報酬等を減額・支給停止・不支給とする条例を制定

議員としての活動が長期的に不可能となった場合でも、議員を辞職しない限り報酬等は支給されるため、減額等ができるように議員報酬等の特例を設ける。

報酬の減額

公務の欠席相当日数	減額割合
90日を超え180日以下	100分の20
180日を超え365日以下	100分の50
365日を超える	100分の80

期末手当の減額

議員報酬の減額割合を乗じた額

支給停止

議員が刑事事件の被疑者又は被告人として逮捕、拘留
その他身体を拘束される処分を受けたとき

不支給

停止に係る刑事事件の有罪判決が確定したとき

人事

人権擁護委員

島村 久雄さん（篠隈）
柳 雅明さん（三並）

固定資産 評価審査委員

北原 信美さん（久光）

教育委員

砥上 淳一さん（松延）

※そのほか、農業委員19名の選任など
審議しました。

条 例

◆総合計画策定条例の制定

総合計画の位置づけを明確にし、策定に必要な事項を定める。

問 総合計画（平成32年から10年間）の公表はいつ頃か。

答 原案は平成30年度末に示し、31年度に審議会等々で議論するというスケジュールで準備を考えている。

◆めくば一る条例の一部を改正

栄養指導室を研修室に変更。

栄養指導室 ⇒ 研修室3

【利用料】午前：500円⇒300円

午後：600円⇒400円



めくば一る福祉館のここが変わります

◆廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正

ごみ減量化対策に向けた可燃ごみ指定袋の規格変更に伴う改正。

可燃ごみ指定袋を3種類（大・中・小）とし、改めて規格・価格を設定。

（※関連記事をP10に載せていますのでご覧ください。）

◆町営住宅管理条例の一部を改正

法律の施行に伴う一部改正。

※収入未申告者の家賃は最高額となるが、収入申告等が困難な事情にある場合は、町が当該収入超過者の収入を勘案し近傍同種の住宅家賃以下で、規定する方法により家賃算出ができるようになったもの。

その他議案

◆権利の放棄

不納欠損処理のため、住宅新築資金等貸付金の債務者4人に対する貸付金総額2,494万円に対する返還請求権を放棄するもの。

問 契約書には返済が滞った場合どうなるのか記載されているか。

答 詳しい文言は記憶していない。

問 推薦者の部落解放同盟から償還に関して協力はあったのか。

答 協力をお願いしたことはない。

問 滞納が発生した時期に契約に基づく繰上償還や保証人に返済を求めるなどの対応をしなかったのはなぜか。

答 自主的に返済されている間は法的措置の必要はなく、時効管理や督促・納付相談に応じながらやってきた。

一般会計 3月補正予算

3億8,404万円を減額
総額125億2,791万円

◇主な歳入

町税	▲4,690万円
平和記念館入館料	▲1,130万円
国庫支出金	▲7,384万円
繰入金	▲2億3,490万円
各種基金利子	3,804万円
特別交付税	3,000万円

◇主な歳出

国保特別会計繰出金	1億223万円
両筑平野用水事業事務	1,458万円
甘木線経営安定対策事務	317万円

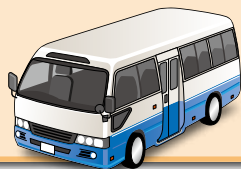
これから何が変わっていく？

平成30年度 一般会計予算

平成カントリー施設整備
3億4,200万円

城山地域活性化プランナー
400万円

巡回バス購入費
1,176万円
社協の寄付を財源に
地域巡回バス2台更新



イチゴ観光農園施設整備補助金
4,640万円
地方創生推進交付金活用事業



地域学校協働活動事業
1,316万円
小中学校アフタースクール等

公園遊具更新工事
3,300万円

東小田団地建て替え工事
2億4,000万円

子育て世代包括支援センター
760万円



平成30年度 予算を問う

平成30年度一般会計および特別会計の予算審査特別委員会を田中政浩委員長のもと、3日間の日程で行った。

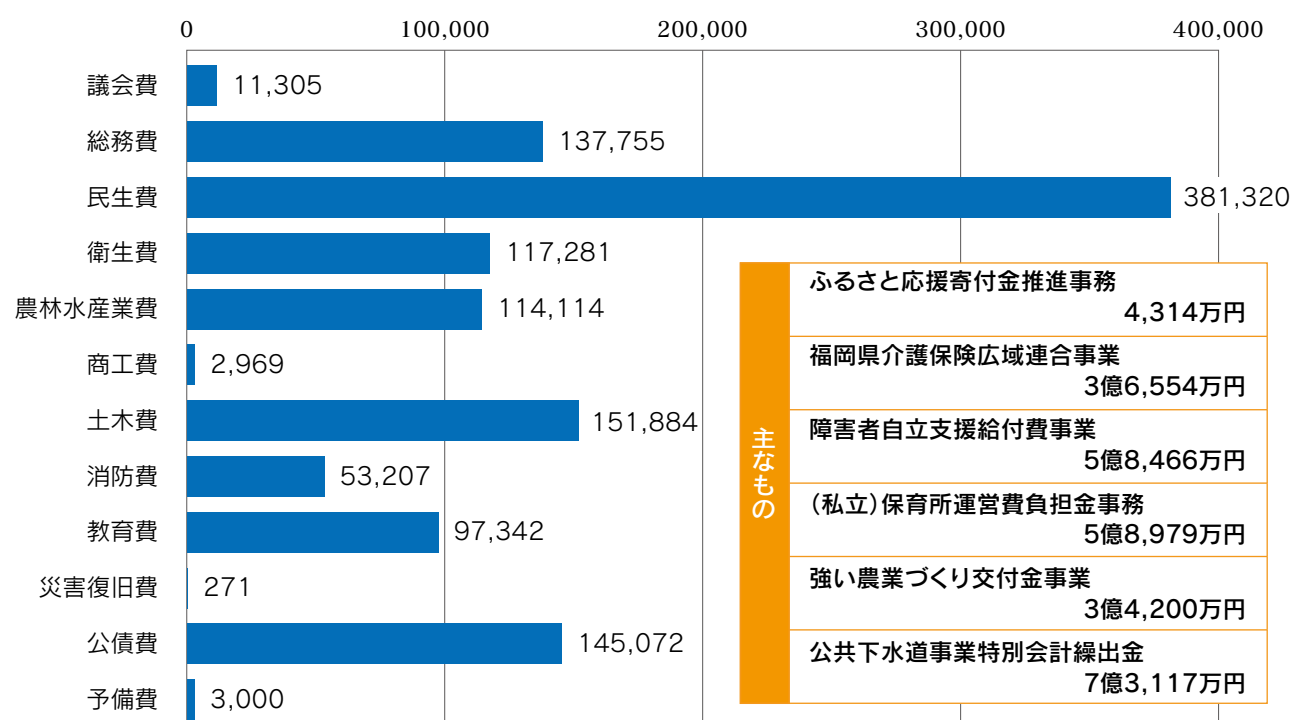


一般会計予算総額 121億5,520万円 (前年度比9.5%増)

前年度当初予算 (骨格予算) **110億 605万円** (プラス 11億4,915万円)

前年度6月予算 **122億7,453万円** (マイナス1億1,933万円)

平成30年度当初予算款別一覧表 (単位:万円)



主なもの

ふるさと応援寄付金推進事務	4,314万円
福岡県介護保険広域連合事業	3億6,554万円
障害者自立支援給付費事業	5億8,466万円
(私立)保育所運営費負担金事務	5億8,979万円
強い農業づくり交付金事業	3億4,200万円
公共下水道事業特別会計繰出金	7億3,117万円

地域巡回バス

問 社協からの寄付を財源に購入するバスの大きさは。地域巡回バスの時刻表とコースは今のままか。

答 めくばり号14人、コスモス号が25人乗り。運行形態、ルート等は検討委員会で議論する。

(企画課長)

財政問題

問 経常収支比率が96%を超えている。今後が心配。
答 公債費が減少していくまでは、下がることは見込めない。

(財政課長)

問 51行政区をこのまま続けるのか。行政の指導は。

答 機運が高まっていけば支援をしていきたい。あくまで地域を尊重したい。

(町長)

問 自主財源確保。他の自治体と比べ町の税率は高いのか安いのか。

答 標準税率である。(町民税10%・固定資産税1.4%)

(町民税)

稼ぐ力

問 生産調整の補助金は国では廃止になったが、町単独事業なのか。

答 30年度から国からの配分は廃止になっているが、農業者の自主的取り組みで県が主体的に生産調整を行っている。
(農林商工課長)

問 農業者や商工業者の「稼ぐ力」の対策は。

答 6次化を進めていき、土地利型作物については、国の補助金を確保しながら連携していく。
(町長)

問 観光農園と弁当工房は、みなみの里での経営体か、それとも独立採算なのか。

答 みなみの里に運営委託をして、部門別の採算で計算する。
(農林商工課長)

問 ふるさと納税は返礼品、委託料を含め、何%か。

答 返礼品43%。委託料は寄附額の12%で計上している。
(企画課長)

経費節減策

問 防犯灯のLED化での費用対効果の試算は。

答 30年・31年度の継続費で行い、約8年間で投資を電気代で賄う。
(環境防災課長)



LED化が進む防犯灯

問 新電力の説明を。

答 新電力会社への切り替えで基本料金が削減できる。
(財政課長)

問 組織機構の見直し等で人件費の削減はできないか。

答 合併時から保育所・給食センターの民営化等で5億円以上を削減した。委託経営に切り替えないと、このような削減はできず、なかなか困難である。
(町長)

まちづくり

問 各区からの要望に対する工事請負費が昨年より減額されているが。

答 財政にも限度があり、安全性や費用対効果を総合的に判断して進めているが、財政の範囲以内でしか対応できない。
(建設課長)

問 空き家対策についての今までの推移と今後の計画は。

答 町の空き家率が4.2%、県の平均が12%で少ないが、昨年までに21件のクレーンや要望等があり、現地調査・所有者調査を行い、文書による指導・助言を行った。今後は専門家に相談できる制度を活用していく。
(都市計画課長)



問 企業誘致を推進されているが、状況は。

答 計画地内は、29年度は22件の相談があった。
(都市計画課長)

子どもの環境

問 第2三輪小学校学童保育の開設予定は。

答 30年度内の設置予定。
(こども課長)

問 三並小のICTモデル学校としての成果は。

答 他校に取り組みを発信し、学力向上にもつながっている。
(教育課長)

問 給食調理は、夜須中がまだ直営で残っているが、職員がいなくなるまで現在のままで行うのか。

答 現在3名いるが、部署の異動で対応し、将来は民間委託する。
(教育長)

問 アフタースクールの運営に関しては教職員の負担になると思うが。

答 学校と協議し、運営方法のあり方を検討する。
(生涯学習課長)



平成30年3月定例会

全会一致で可決・承認した議案

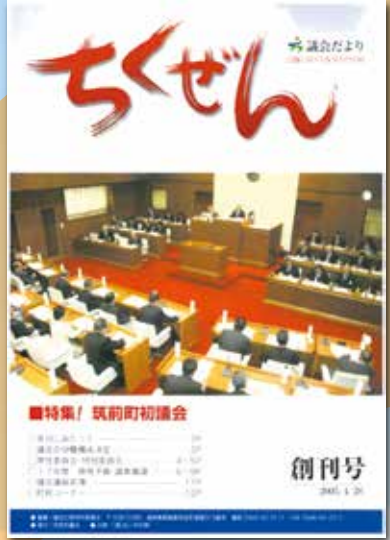
人事	人権擁護委員の推薦	補正予算	平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)
	人権擁護委員の推薦		平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
	固定資産評価審査委員会委員の選任		平成29年度水道事業会計補正予算(第3号)
	農業委員会委員の任命		平成29年度工業用地造成事業特別会計補正予算(第3号)
	教育委員会委員の任命		平成30年度下水道事業会計予算
専決	専決処分を報告し、承認を求めること (筑前町税条例等の一部を改正する条例の制定)	当初予算	平成30年度水道事業会計予算
	専決処分を報告し、承認を求めること (筑前町税条例等の一部を改正する条例の制定)	その他	平成30年度工業用地造成事業特別会計予算
条例	総合計画策定条例の制定	その他	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更
	めくばー条例の一部を改正する条例の制定		町道の路線認定
	後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定	発議	筑前町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定
町営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定			

賛成多数で可決した議案

区分	議員名	議員名															
		深野良二	田口讓司	横山善美	山本一洋	奥村忠義	木村博文	石丸時次郎	栗野光雄	山本久矢	川上康男	福本秀昭	梅田美代子	一木哲美	河内直子	田中政浩	
条例	筑前町廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	(反対討論)河内:少人数世帯向けに現在の小より一回り小さく作成したのは結構だが、現在の大き目の容量を50ℓから45ℓ、30ℓから27ℓへ削減することは実質的な値上げ。住民負担増であり反対。 (賛成討論)梅田:18ℓのごみ袋ができることでこれまで1枚30円で購入していたものが20円で購入でき10円軽減される。																
当初予算	平成30年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	(反対討論)河内:部落解放同盟への600万円も超える、その大半が人件費に充てられる補助金は住民の理解は得ることはできない。また、西田地区まちづくり推進委員会運営業務委託も8年目となり、これまで2,000万円を超える委託料が支払われて未だ先が見えない中、300万円を超える委託料は理解できない。 (賛成討論)山本一:反対されている予算は、残されている現状課題を解決するために必要。他にも教育予算の充実と併せ費用対効果や経費削減も盛り込まれており適正な内容と判断する。																
	平成30年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	(反対討論)河内:国保は給付と負担の公平との概念で捉えることは間違っており、国保財政が厳しい根本原因は国庫負担が引き下げられたことにある。国に国庫負担金の増額を求め、住民負担を軽減すべきだ。 (賛成討論)奥村:地域住民の医療確保と健康増進に重要な役割を果たしている国保事業は、厳しい財政運営の中、赤字補填の繰入金対応のある予算であるが、4月から始まる国保改革制度に対応した適正な内容である。																
	平成30年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
(反対討論)河内:75歳という年齢で医療を差別する制度に反対であり、元の老人医療保険制度に戻すべき。低所得者に対する2割軽減措置が廃止される内容も含んでおり、容認できない。 (賛成討論)木村:後期高齢者医療制度は、高齢者が県内一律のサービスを受けられるものとして、県の広域連合が運営している。本予算は広域連合との連携をもとに、筑前町が徴収した保険料を広域連合に納付する内容で適正だ。																	
平成30年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
(反対討論)河内:未だ1億円以上の未償還があるのに、あまりに少ない元利収入となっている。弁護士費用も計上しているが、毎年400万程度の償還ではこれから30年以上もかかってしまい、後世の担当職員の負担を軽くするためにも早期償還に向け努力すべき。 (賛成討論)深野:町債も完了したことにより債権回収が中心になる。全負債者の時効の管理、納付事業、債務者の状況に応じた弁護士相談の活用などの事務を行う必要がある。																	
その他	権利の放棄について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	(反対討論)河内:不納欠損処理を行うことにより、本来国に入るべき税金である2,500万円はなくなってしまふ。平成4年以前の契約は抵当権も設定されていないなど、無謀な貸付であり早期の対応だったら返還は可能だった。 (賛成討論)田中:国の事業方針に従い、貸付制度の背景や性質をもとに事業の推進がなされている。負債者や保証人の状況からは今後も返還される見込みがないと聞いているので、債権の放棄はやむを得ない。																

議長 矢野 勉は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。

(議会広報No.1)



(議会広報 No.10)



(議会広報 No.20)



筑前町誕生と議会

山本廣行 議長(H17~H19)

戦後、行政事務が増大して多様化が進む中、これに対応するために行政の規模拡大が必要となった。そのことから市町村合併の機運が高まり平成17年3月22日夜須町、三輪町の合併により筑前町が誕生した。議会は現職議員28名で構成し、筑前町の発展に寄与することとした。

竹永忠夫 議長(H19~H20)

議長として「町民の期待に応え得る議会改革」第1期委員会を発足し協議を開始。また、合併特例債によるランチルームの落成(三並・東小田・中牟田)小学校、三輪小学校プール落成、こども未来センターオープン等々教育施設の充実、更に池松さんのレスリング北京オリンピックでの活躍を町民あげて応援したことなどが印象に残っています。

筑前町の概要

面積：67.1km²

人口推移：H17 (29,353人)
H30.3 (29,617人)

町の木：サクラ

町の花：フジ

町の鳥：うぐいす

特集

議会広報

発刊50号

議会広報は2005年3月22日の合併後、2005年4月に創刊号が発刊されました。以来、今回で50号を迎えることができました。

これからも町民の方々にとって読みやすく判りやすい議会広報を作成したいと思っています。町民の方々の身近な情報をお待ちしています。

議会広報特別委員会 委員長 横山善美

筑前町のあゆみ

- ファーマーズマーケット みなみの里
- 大刀洗平和記念館
- 山麓線開通
- ヤクルト工場誘致

(議会広報 No.30)



(議会広報 No.40)



金子保次 議長(H20~H23)

議会では、「町民に開かれた議会」を目指し、議会活性化委員会を設置しました。各種団体と政策交流を重ね、結果を要望として町長に提出しました。平成21年には、みなみの里と大刀洗平和記念館がオープンし、上水道が通水開始するなど新しい町づくりの第一歩を踏み出しました。全議員と関係職員と一緒に西鉄福岡駅広場に行き、オンリーワン施設のPR活動を行ったことを覚えています。

宮原 均 議長(H23~H26)

議長当時は田頭町政一期目で、食と平和の町づくりを内外にアピールする時期であった。一方議会は全国的に議会改革が叫ばれ約3年間にわたり協議検討する中で、議員発議による「議会基本条例」を制定し“筑前町議会”として歴史に残る時期であった。

今後とも、町民に親しまれる議会だより、議会議員の代弁者としての広報づくりを期待します。

矢野 勉 議長(H26~現在)

合併10周年を迎え、新町建設計画に基づき、食と平和の町づくりが順調に進み、多目的運動公園が開園し、計画が完了しました。

また、議会報告会や区長会・老人クラブ・女性グループとの意見交換を行ない、政策提言を行なっています。さらに議員力を高めていきます。

一般質問 『^{その後}どうなった?』

質問

平成28年12月議会

通学路の安全安心のために

県道594号線（新町～原地蔵）の野町区付近の側溝に転落事故を防ぐための蓋を。



蓋の代わりに転落事故を抑止するための反射灯やガードパイプが設置されました。今までは、年間数台の車が転落していましたが、今後は減少すると思われます。
※皆様の安全運転をお願いします。



質問

平成29年12月議会

小さいゴミ袋を

高齢者、独居世帯の増加に伴い、さらに小型のゴミ袋、10枚単位の販売を。破れにくい厚みや企業広告掲載の研究を。



平成30年8月からゴミ減量化対策のため、可燃ゴミ指定袋が下表のとおり大中小の3種類に変更になります。

10枚入り、厚み、企業広告は今後の課題です。

可燃ゴミ袋	大	中	小
容量	45ℓ	27ℓ	18ℓ
価格（1枚）	50円	30円	20円





3月定例会

一般質問

3月議会では、8人の議員が14件の一般質問を行い、町政全般について2日間にわたり活発な議論を展開しました。

なお、全文記録（会議録）については、筑前町ホームページに掲載しますので、ご覧ください。

※一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。

筑前町議会

検索

ページ	質問の内容	質問議員
12	1. 財政問題	石丸 時次郎
12	1. 防災対策	福本 秀昭
13	1. 学校教育 2. 福祉政策	深野 良二
13	1. 地域防災、減災の今後の考え 2. 消防団への支援・改革	川上 康男
14	1. 河川堤防の草切り 2. 多目的総合運動公園ほぼろ（野球場）	横山 善美
14	1. 次世代支援策の拡充 2. 災害対応力向上	梅田 美代子
15	1. 子育て支援のあり方 2. めくばり館の今後の活用	山本 一洋
15	1. 子ども達の安心・安全を守る取り組み 2. 安心・安全なまちづくり	河内 直子



石丸時次郎 議員

今、問われている

歳出削減の本気度

ピンチはチャンス、今後もその思いで

ながっているか。

財政課長 一部事務組合負担金の減額、特別会計への繰入金削減を行い、経費削減に向けた予算編成とした。

石丸 中長期的視点に立った強化すべき健全化への取り組みは何か。

財政課長 35年度までの財政運営が重要。財政調整基金、減債基金の確保、経常経費の削減を重要な目標とし、健全財政に努める。

町長 合併以降5年間で集中的に投資の借入れを行い、積極的な建設事業を推進してきた。今後、財政状況は厳しいものが予測されるが、金が無いときこそ知恵がわく。ピンチはチャンス、今後もその思いで取り組んでいく。

防災教育の充実に

福本 益城町による熊本地震検証報告書が公表され、昨年7月の九州北部豪雨災害も含め、過去に起きた被害の検証報告書をどう受け止めているのか。

環境防災課長 想像を絶する未曾有の大震災となり、日常の備えの大切さを知った。防災教育、計画等を見直し、被害を最小限度に抑えられるよう取り組む。

開設の遅れはなぜか

福本 四三嶋、下高場、東小田地区に避難指示(緊急)が発せられたにもかかわらず、東小田小学校の開設が遅れたのはなぜか。

環境防災課長 コスモ

スプラザ敬老館の開設に続き、随時開設予定であった。

配備体制は段階的に

福本 5日19時44分避難指示(緊急)の発令時刻における配備体制と参集状況、職員の配備レベルに定める要員を確保されたのか。

環境防災課長 第2配備体制での避難指示を発表しており、配備期間3日間の夜間交代でも問題無く、要員確保を行い河川水位状況や、気象状況を継続して収集した。

優先的に災害物資の支給を

福本 町はホームセンターのNPO法人と協定を結んでいる

が、特段にメリットがあるのか。

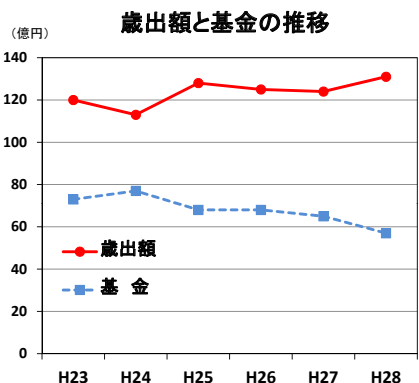
環境防災課長 協定により、災害時には優先的にブルーシート、雨具等の作業用資材や毛布タオル食器等の日用品及び投光器を、町の要請により現地まで搬入可能となる。

過去の教訓を活かせ

計画や防災教育の充実に繋げたい



朝倉市杷木星丸地区の大被害



待ったなし、財政健全化への道筋



福本秀昭 議員



深野良二 議員

英語検定の手法を改善しては

改善しては

英語検定の手法を改善しては
深野 町が助成している英語検定は、子どもの実情にあわせ、検定を受けさせては。

教育課長 総合戦略の1つであり、中学3年生の卒業時に英検3級以上取得に対する施策として考えている。

深野 英語力を高める施策は。
教育課長 教職員の指導力向上、ALTの増員、放課後学習を実施し、英語力を高めていく環境づくりを充実させる。

高齢者対策の強化を

強化を

高齢者等見守りネットワーク推進事業を始めた目的は。

英語力向上にむけた

施策を

学びの環境づくりを充実させる

福祉課長 孤独死や高齢者を狙った詐欺事件

などが増加したことから、地域ぐるみで見守りを行うきつかけづくりとして平成22年度から事業を開始した。

深野 事業の継続要望があるが。

福祉課長 継続はしな

いが、今後も地域での見守り会議などに職員を派遣し、地域の支援は継続していく。

深野 高齢者が安心して暮らせるための施策は。

福祉課長 高齢者等見守り生活支援システム事業や配食サービス事業などがある。また、在宅介護支援センターで相談に応じ高齢者の見守りも行っている。

深野 高齢者を支援していく事業が知らされていない。地域の人たちに事業の周知を。

その他の質問
○教職員の働き方改革
○教職員定数の確保
○教職員の人権意識



ALT（外国語指導助手）による英語の授業

地域防災・減災の

今後の取り組みは

川上 大災害に備えた訓練、対策が必要。今後の取り組みは。

環境防災課長 昨年6月の災害対策本部設置運営訓練を含め、過去3回実施している。繰り返しの学習、訓練が効果的であるため、今年度も訓練を実施し、防災力向上を図りたい。

川上 全地域で自主防災組織立ち上げを。

環境防災課長 三箇山、上曾根田、弥永区の新規設立で33組織。今後も引き続き推進を行い、自分たちの地域は自分たちで守る、自主防災組織の育成指導に取り組み、自主的に活動できるように組織づくりを目指す。

消防団への

支援・改革を

川上 消防団員は条例定数より42人減少、団員確保対策は。

環境防災課長 消防団と町が一体となって取り組んでいる。

川上 条例定数削減の考えは。

環境防災課長 合併以前の定数であり条例定数改定も必要な時期にきている。今後消防団や消防委員会での慎重審議が必要。

川上 団員報酬額の見直しの考えは。

環境防災課長 平成17年合併時に協議し現在に至っている。県内他団体に比べ低いが、朝倉地区の均衡も図っており早急な改定は考えていない。

川上 消防団への支援の充実、改革の考えは。

町長 しっかり支援していく。組織改革は現場の意見を聞き、消防委員会とも協議し慎重に取組みたい。



大会に励む筑前町消防団

消防団への支援の拡充を

しっかり支援していく



川上康男 議員



横山善美 議員

草切りが出来なくなる

研究会等で検討する

堤防草切りの改善を

横山 近年作業従事者の高齢化、不慣れな方の従事、危険箇所もあり、過去には事故も起きています。行政の今後の対応は。

建設課長

町としても難しい問題と認識している。複数の行政区からも相談がある。県へ要望しているが厳しい。地域の皆様にご理解いただき従来通り協力をお願いしたい。

副町長 大型機械を導入してやる方法も検討している。町内の方と協議中。

横山 この問題はすぐには解決できない。専門部会を設置して討議討論したらどうか。

町長 新たな研究会等大賛成、知恵を出しあって解決策を見出した



危険な河川の草切り

い。会合には共に出席して専門家あるいはメーカーを呼んで様々に議論したい。

運動公園野球場の不具合改善を

横山 施設の整備について、野球場とパークゴルフ場との間に防球ネットが必要ではないか、など安全面・利用面での改善が必要では。

避難所運営訓練を

梅田 災害対応に女性の視点が大事では。

環境防災課長

防災会議、自主防災組織に女性参画を促進している。町の防災業務はこれまで女性職員が多く担当している。昨年末女性の意見を反映した避難所運営マニュアルを作成している。

梅田

各避難所でのHUG（避難所運営ゲーム）による訓練は効果的であるので実施を。

環境防災課長 避難所運営マニュアルの理解と併せHUG等の訓練を実施したい。

梅田 町営住宅で避難訓練をすべきでは。

都市計画課長

実施に向け検討したい。



梅田美代子 議員



女性の視点が大事

次世代支援拡充を

梅田 政府の未就学児分医療費助成のペナルティー廃止に伴い町負担が減となる。これを財源とし、医療費助成、インフルエンザ予防接種助成を18歳まで拡充できないか。

健康課長

近隣状況、少子化対策の視点を踏まえ研究課題とした。

町長 財源問題も重要であり今後の研究課題。

梅田 貧困対策、食育の視点から学校給食費無償化の考えは。

町長 国策として手当がされればその時点で検討する。

梅田 保育所持機児童の現況は。企業主導型保育所へ協力要請は。

こども課長

4月1日入所申請は、定員590名に対し670名が申請。665名に内定通知した。各保育所に床面積基準で最大枠、保育士確保を協力いただいた。30年に開設した町内の企業主導型保育所（医療法人うら梅の郷会・じよんやま保育所）を紹介し、入所の拡大を図った。

災害対応に

男女参画の視点を

避難所運営マニュアルに反映



山本一洋 議員

子育ての窓口一本化を

先進地の取り組みを参考に研究する

保護者の不安や 苦悩に寄り添って

山本 昨年も気になる子どもたちの現状を尋ねた。その後、相談なども増えているのか。
こども課長 年々増加傾向にあり、内容も複雑多岐にわたってきている。

山本 保護者の不安や苦悩する立場に立った対応を、早急にしては。
健康課長 平成30年度中に妊娠・出産・子育てに関する切れ目のない支援をするため、子育て世代包括支援センター設置を進めている。
山本 現在町には、子育て支援に関するセンターと呼ばれる施設が3か所あり、保護者には分かりにくい。ワンフロアーによる窓口の

一本化で対応を。

こども課長 ワンフロアーにより、専門家が関わった相談対応が出来るのが理想だ。

山本 保護者の思いに寄り添った行政サービスを行うには、スピード感を持った問題解決が必要だ。組織のあり方を総合的に考え検討しては。

町長 先進的な取り組みがあれば、職員を派遣し勉強してもらいたい。



「あいあい」ひろばの様子

めくばり館の有効活用を

山本 総合戦略にある世代間交流の取り組みは進んでいるのか。

こども課長 昨年4日間、幼児親子とのふれあい事業を行ったが、高齢者の参加はほとんどなかった。

山本 老人クラブなど関係する団体との事前協議を行ってほしい。めくばり館は、三輪地区の1丁目1番地である。もっと利用者増の提案を。利用者・シニアは色々な活用案がある。シニアが持っている力を活用すべきでは。

町長 高齢者パワーを活かして、様々な施策を前向きに展開したい。



河内直子 議員

トイレがない 避難所

河内 70%が交付税措置される補助事業を活用し、三輪中体育館の建て替えはできないか。

教育課長 平成30年度建築計画に計上していないので補助の対象にはならない。

河内 いつ頃、建て替えの予定なのか。
教育課長 当面は改修等により施設の維持管理を行っていききたい。

町長 校舎の改築順番としては、体育館が一番と認識している。

就学援助適用基を 住民税方式へ

河内 生活保護基準の引き下げにより、適用外はあり得ない。今後どうなるのか。



避難所なのにトイレがない体育館

教育課長 できる限りその影響が及ばないよう判断していきたい。

河内 住民税方式の方が判りやすい。切り替えたらどうか。
教育課長 今後、研究が必要と思う。

農業者トレーニングセンターの建て替えは

河内 先々の補修代を計算すると建て替えた方が安くつくのでは。
財政課長 個別施設計画の中で検討したい。

基金の残高が違う

河内 中期財政計画の中で、28年度末基金残高の額が違っているが普通会計で計上しないといけないのでは。
財政課長 統一した内容にしておくべきだった。今後留意していく。

河内 町民要求実現の財源として、基金を積極的に活用していただくことを、お願いする。

三輪中体育館建て替えに 着手を

今後、有効な事業があれば検討したい

傍聴へ
どうぞ!

平成30年 6月定例会(予定)

●開会
6月 8日(金) 10:00~

●一般質問
6月12日(火) 10:00~
~14日(木) ”

●閉会
6月15日(金) 14:00~

※会期予定は5月25日の議会運営委員会
会で確定のため、変更する場合があります。

【一般質問の内容公開】
5月末頃にホームページで公開の予定

傍聴をしての感想

筑前町に引っ越して
5年が経ち、初めて議
会を傍聴した。筑前町
の財政状況が厳しい
と説明があり、シヨツ
クを受けた。平成35年
度以降は改善方向に
向かうとのことであ
るが、是非この約束を
実現してほしい。

(T・Oさん)

初めて議会を傍聴
して、テレビを見るよ
うな光景でした。

(K・Iさん)

初めて議会を傍聴
させていただきまし
た。質問者の議員と答
弁者(執行部)の方た
ちが中身の濃い答弁
をしていて、とても勉
強させてもらいまし
た。

(H・Mさん)

3月定例会の傍聴者数は16人でした。傍聴はどなた
でもできます。多くの傍聴をお待ちしています。

vol.20 街角 TOPICS

入所式(美和みどり保育所)



仲良く遊びましょう

保育所(園)・幼稚園のご入所(園) おめでとうございます。

春の優しい日差しが幼い笑顔に輝いて、子ども達の成長を喜ばれておられることと思います。町の宝である筑前っ子が、心豊かでたくましく育つよう、子育て支援事業を行っています。子育てに悩んだら抱え込まずに、子育て支援センターやこども未来センターへお気軽にご相談ください。

筑前町の子ども達が今後も健やかに成長できるよう子育ての支援に努めて参ります。
(こども課長)

追悼文



先日、思いもよらぬ事故により、栗野光雄議員がお亡くなりになりました。

町政発展のために貢献され、温厚な人柄でみんなに愛されていた「みつちゃん」。

誰からも「みつちゃん」と親しみを込めて呼ばれていましたね。

そんなときの貴方の顔が目に浮かびます。

ご冥福をお祈りしますとともに、謹んでお悔やみ申し上げます。
(奥村)

※議員欠員による補欠選挙はありません。

発行責任者

議長 矢野 勉

議会広報特別委員会

委員長 横山 善美

副委員長 山本 久矢

委員 深野 良二

委員 奥村 忠義

委員 梅田美代子

委員 河内 直子